

研究課題名「当施設における右横隔膜ヘルニアの検討」に関する情報公開

1. 研究の対象

2011年1月から2020年12月までに当院で横隔膜ヘルニア修復を施行した新生児の患者さん

2. 研究目的・方法・研究期間

【目的】

先天性横隔膜ヘルニアは近年の周術期管理の進歩により予後が向上しました。右 CDH は疫学、術式、予後などが左 CDH とはかなり異なっていることが知られています。今回、当施設で経験した右 CDH を対象として、その臨床的特徴をまとめます。

【方法】

2011年1月1日から2020年12月31日までの間に当施設で手術を施行した新生児期症例を比較検討します。

【研究期間】

実施承認日から2023年2月1日までを予定しております。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、基礎疾患、手術時期、手術情報、術中合併症、術後経過（合併症、入院期間、再入院、再手術、栄養状態、呼吸状態等）、予後

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科病態外科学講座 小児外科学分野
研究責任者名 住田 亙
住所 名古屋市昭和区鶴舞町 65
電話 052-744-2959 FAX 052-744-2980